

平成29年度第3回生駒市介護保険運営協議会会議録

1 日 時 平成29年8月17日（木） 午後2時30分～午後4時00分

2 場 所 コミュニティセンター4階 402・403会議室

3 出 席 者

委 員 澤井 勝 萩原 洋司 辻村 泰範 林 昌弘 井上 太 中尾 初美 藤田 照子
藤尾 庸子 日野 紀代子 小川 千恵里 平本 良平 嶋司 和子

事 務 局 影林福祉健康部長

高 齢 施 策 課：島岡 伸康 児玉 さつき

地域包括ケア推進課：田中 明美 知浦 太一 渋谷 英生 齊藤 新吾

介 護 保 険 課：近藤 桂子 角井 智穂 殿水 成樹 細川 隆庸 西川 洸

地 域 医 療 課：石田 浩 後藤 治彦

業 務 支 援 NTT データ経営研究所：吉田 俊之

1 開会

会議成立の報告（委員13名中12名出席）

2 案件（1）～（5）

資料1～8、別紙1～4により説明

案件1 会議の公開・非公開について

異議なしで、公開で行うことに決定。

案件2 地域密着型サービス事業所の指定更新について

資料1、2により説明

◎質問・意見

委 員： デイサービスセンターそうせいについて、現地確認に行ったが、施設の設備面、室内も高級感があり、他の生駒市のデイサービスに比べるとしつらえは非常によかった。非常に元気な人がたくさんいたが、デイサービスを利用する必要があるのかと少々疑問に思った。

会 長： 私も現地確認に行ったが、サービス提供型としては食事の支度などをもっと参加者に参加してもらうのがいいと感じた。

委員より承認を得たため、本会議終了後、諮問書を会長から市長へ提出することとなった。

案件 3 高齢者保健福祉計画及び第 6 期介護保険事業計画の実績について

資料 3、4、4（別紙 1～4）、5 により説明

◎質問・意見

会 長： 認知症地域推進委員は、支援センターにいるのか。

事務局： 各地域包括支援センターに一人ずつ配置したいと考えており、予算は確保したところ。現時点で 4 名、4 箇所の地域包括支援センターにきてもらっている。

委 員： 早くその整備をお願いしたいと思う。

委 員： 認知症の方はひとりひとり状態が違う。住民が困ったとき相談できる方法はあるか。

事務局： 専門の相談ダイヤルを設けており、こちらに相談してもらうことが可能。

委 員： 地域密着型の事業者の運営推進会議に 2 箇所出席している。前回出席した運営推進会議の中で、介護に関する情報が少ないという意見が出た。若い人でも立ち寄れるコンビニや銀行など、誰でも行けるようなところに、介護保険に関するリーフレットのようなものを設置してもらえれば、介護が必要になった時に情報収集しやすいという意見が出た。また、広報いこまちで介護の特集がないため介護特集をしてほしい。若い方で介護をしている方も多いため、若い人をターゲットにした情報提供も考えてほしい。

また、施設の整備についてだが、グループホームが突然定員オーバーにより、現在順番待ちの方がたくさんいる。特別養護老人ホームは要介護 3 以上でないと入所できないなど、様々な条件変更があり、特に在宅介護については介護時間が長引くとしんどいという声を良く聞くため、施設整備を重点に考えてほしいと思う。

また、運営推進会議で地域密着型の小規模多機能が定員にならなかった要因についての話がでた。それについては、ケアマネジャーが自分の所属する事業所を優先的に紹介しているため満杯にならない状況ではないかということになった。このことについても、配慮していただければと思う。また、独居老人については、民生委員の方が調査しているが、老老介護をなさっている方は非常に疲労しているため、是非老老介護の実態を把握していただきたい。また、前回の介護保険運営協議会で話が出てきた地域包括支援センターさんの云々という内容を聞き漏らしていたため、その後どうなったかを聞きたい。

事務局： 地域包括支援センターの方から、再委託というものをもっと広めてもらえないだろうかという意見を頂いた。そのためまずは、介護保険のメイン協議会の委員の皆様からのご意見を頂いた。再委託の要件を広げるということについては、本当にその条件、要件で大丈夫なのかという意見と、広げることも大賛成ですというご意見も頂いた。そのため、今後検討を進め、改めて委員の皆様からご意見頂戴する機会を作らしていただきたい。センターには委員の皆様から頂いたご意見を報告させていただいている。

委員：ありがとうございます。実際の介護者からは介護に関するお願いが多くあるため、是非良い方向に進むようにお願いします。

会長：この報告、見てきた実績、拝見して良かったと思うのが、認定率が下がっていること。これはなぜ下がったのか。どのように評価をしているのか。

事務局：実際、認定者数は増えており、中重度、要介護3から5の方については、ほぼ横ばいで伸びている。見たところ、要支援の方、要支援1の方が減っている状況である。これは平成27年10月から総合事業に移行したことにより、要支援の方が事業対象者にいかれた方もいるということと、お守り認定みたいな方も中にはいる。また、サービスを使ってない方もいるということもあったので、こちらの認定更新の申請の方向を工夫したところもあり、認定率が下がっているという現状。それが本当にいいのかどうか評価まではしていない。第7期の計画の中でも認定率を目標としてということもあるが、認定率を下げる方がいいことなのかどうかということも疑問に思うため、評価まではしていない。しかし、効果は出ているという印象。

会長：はい、検証が必要ということですね。

委員：認定者数の認定率の推移の中で、認定率が下がっていると言っているが、この縦の棒グラフの平成29年時点ではそこまで下がっていない。

事務局：認定率とは、第1号2号保険者に対して認定者がどれだけいるかということになる。第1号被保険者、65歳以上の方は、このグラフのように増えているため、それに対して認定者数はそこまで増えていない。そうすると、認定率は下がるということ。

委員：文章では書いてないので理解できなかったが、その説明で理解できた。

案件4 第7期介護保険事業計画策定に向けた進め方について

資料6、7により説明

◎質問・意見

会長：デイサービスがサービス供給を中心にしたという形になっているが、そうではなく生活の場を設定するサービスという考え方がある。要するに、サービスを受ける側、提供する側が固定した関係ではなく、しばしば逆転するということがある。高齢者の役割をどうやって引き出すか。なにかきちんとケアしたほうがいいんじゃないか。現状高齢化もますます進み、時間がなくなってくる中で、住民自身が自ら解決する、問題に立ち向かっていくことが必要だと思っている。それを含めて議論が進めていければいい。何か意見はあるか。

案件 5 その他

資料 8 により説明

以下の 3 点を報告

- ・介護サービス地域支援事業の将来見込みについて、次回はサービスを見積もった形で提示すること。
- ・第 6 回の会議にて素案を提示し、12 月 16 日～1 月 15 日にパブリックコメントを実施すること。
- ・次回の会議は 10 月 4 日に開催すること。

閉会